

**曜日・時間** 1学期 火曜 3限

**開講科目名** プロジェクト演習 (リーダーシップデザイン)

**対象所属 ※ 年次** OSIPP (M) 1,2年、法学部

**全学部** 3,4年

### 講義題目

リーダーシップ・デザイン

### 授業の目的と概要

この授業の目的は、国際環境の中でのリーダーシップの実践事例を学ぶことにより、みなさんの将来のリーダーとしての人間的資質を磨き、基本的能力を身につけていくことにあります。

リーダーシップは科学ではなく、むしろ「アート」であるといわれ始めています。また、リーダーシップは、日本語訳では「指導力」といわれるように、「力(パワー)」とも密接に関係した概念であると考えられます。アートとしてのリーダーシップについての社会科学的分析は可能であり、アートでありパワーである限り、それらを高めていくこともまた可能です。本講義では、受講者のみなさんの将来に向けてのキャリア・デザインの一環として捉え、いかに自分自身のリーダーシップの「アート」を磨き、「指導力」を高めるかに重きをおきます。

グローバル化やネットワーク化が進む今日、受講者のみなさんは、近い将来、国際的な市民社会で活躍されることが期待されています。産業分野のみならず、とりわけ政治外交・公共・研究分野での日本人のリーダーシップの強化が望まれています。学生である現時点から、さまざまな国際舞台で活躍する魅力あるリーダーシップとは、どのようなものであるのかの実態を知り、自らのリーダーシップ像を考えていくことは、自らのキャリアを具体的にデザインしていくうえで、有意義な経験となります。

### 学習目標

受講者のみなさんが、下記の具体的な能力を身につけることをねらいとしています。①各自のリーダーシップ・スタイルを視覚的にデザインし、物語れることができるようになる (Design Board の完成と Storytelling 技法の習得)。②自己形成プログラムをデザインすることができるようになる (Self-discipline Program の完成と実践)。以下の能力が得られるように、ワークショップ型授業で行う。

1. 未知の世界を知ることによって国際感覚を養う
2. 自ら考え、表現・物語る力を向上させる
3. コミュニケーション・対話能力を高める
4. グループワーク技法/マナーを身につける
5. 多様なものの見方との出会いを体験する
6. 経験を通じてリーダーシップを体得する
7. 将来のリーダーシップ像をデザインする

## 履修条件・受講条件

初回講義日(4/11 火曜日)までに、次の三つについてのレポートをメール

(kikawada@osipp.osaka-u.ac.jp)で事前提出することを受講条件といたします。①自分の将来計画・目標 ②履歴職歴の情報を含む自己紹介 ③この授業に期待する内容。定員(20名)オーバーの場合、レポートによって選抜いたします。A4用紙一枚(字体10.5ポイントで約1,200字)にWORDで提出してください。標題は、「リーダーシップ・デザイン」とし、レポートの必要要件である氏名・学番・メールアドレス・提出日を記載してください。

## 特記事項

所属学部などを問わず、世界をよりよい方向に導いていきたいと考え、そのために自らのリーダーシップ能力を高めたいという、自己形成の意欲のある受講生を歓迎します。みなさんには、国際教養としてのマナーを身につけていただくことを重視しますので、遅刻・居眠りは厳禁、無断欠席3回で、評価「欠席」といたしますので、ご留意ください。

なお、障がい等により本講義の受講に際し特別な配慮を要する場合は、初回授業等、早期に授業担当教員に申し出てください。適切な対応につきまして、ご相談させていただきます。

## 授業形態

選択(講義科目 演習科目 実験科目 実習科目 実技科目 その他)

実践的ワークショップ型授業

## 授業計画

上記目的・目標達成のため、以下の三部構成でチーム編成によるワークショップ型授業で進めます。チームの仲間と共に考え学び合う高質な経験を通じて、「国際性」「教養」「デザイン力」を実践的に身につける授業といたします。

1. 自己認識編:「世界と日本、そして市民としての私」をテーマに、取り巻く環境の課題認識と世界と自己との関係性の構築を考えます
2. 自己形成編:「対話と協創」をテーマに、コラボレーション技法やファシリテーション技法を身につけながら、ソーシャル・ネットワーク形成の習得を考えます
3. 自己発現編:「市民社会変革型リーダーの使命と役割」をテーマに、市民社会でのリーダーとしての M.V.P.(Mission/Vision/Passion)の形成、および志(Aspiration)・信念(Belief)・コミットメント(Commitment)の形成と実践を考えます

以上の内容構成の予定ですが、世界動向の変化や最新事情などにより変更もありえます。

### 第1回

Orientation: 自己紹介. ねらい/意義の説明

### 第2回

Team Building: Sharing Knowledge & Responsibility (チーム編成・共通目標・責任)

### 第3回

Leadership を考える: IDEO Way, Brainstorming (技法の習得・Workshop 体験)

### 第4回

“Sense & Respond” Facilitator とは何か? (対話の技法の実践的習得)

#### 第5回

Storytelling とは何か? (Collage & “Persona” Designing)

#### 第6回

私の Leadership Style 像 : Design Board 創作・発表 I (私の M.V.P. : 自己とむきあう・世間とのかかわりを考える)

#### 第7回

私の Leadership Style 像 : Design Board 創作・発表 II

#### 第8回

Art とは何かを考える (Case Study: 対話の Leadership)

#### 第9回

知的書評合戦 Biblio-battle (私が選んだリーダーシップ論のすすめ)

#### 第10回

「阪大スタイル」の Leadership とは何か? (“The Art of Leadership for Handai-Style” 協業デザイン化)

#### 第11回

教員への質問・応答による議論 (Facilitator の実践経験)

#### 第12回

最終発表会 I : My Digital Storytelling

#### 第13回

最終発表会 II : My Digital Storytelling

#### 第14回

各人の目標設定・発表: My Self-discipline Program

#### 第15回

最終講義(総括)

#### 授業外における学習

- 各自のリーダーシップ・スタイル像を視覚的にデザインすること。(Design Board の作成)
- 発表のための準備とプレゼンテーションのリハーサルを行うこと。(Storytelling の練習)
- 知的書評合戦を行うので、「リーダーシップ」関連図書一冊を読み、書評発表の準備をすること。
- レポートを1回作成すること。

#### 教科書・教材

毎回、レジュメ、必要に応じて、プリント・資料を配布します。

#### 参考文献

『リーダー・パワー』ジョセフ・S・ナイ、日本経済新聞出版社。2008年(原題”The Powers

to Lead” , Joseph S. Nye Jr.)。『リーダーへの旅路』ビル・ジョージ+ピーター・シムズ、生産性出版、2007年(“True North” , Bill George with Peter Sims)。(原書の読書を推薦)

### 成績評価

① 受講態度・参加度 10%、②チーム貢献度 40% (学友評価:Peer Review)、③習得度 20% (自己評価と教員評価)④発表・レポートの品質 30%などにより総合評価いたします。とくに、みなさんのチームワーク・協業(Collaboration)する力、自らデザインする力の習得レベルを重視し、ペーパー試験はいたしません。ただし、正当な理由なく無断欠席をした場合、一切の成績評価をいたしませんので、ご注意ください。

### オフィスアワー

毎週火曜日 10:00～11:50, 14:40～16:10

### コメント

初回授業開講日：4月11日(火) 学年歴の通り

所属学部などを問わず、世界をより善い方向に導いていきたいと考え、そのために自らのリーダーシップ能力を高めたいという、自己形成の意欲のある受講生を歓迎します。みなさんには、国際教養としてのマナーを身につけていただくことを重視しますので、遅刻・居眠りは厳禁、欠席3回で、評価「欠席」といたしますので、ご注意ください。

### 授業担当教員

教員氏名：木川田 一榮

居室/Office：OSIPP棟2階 教員室202号

内線/Extension：5635

E-mail：kikawada@osipp.osaka-u.ac.jp

(メールアドレスの公開：可)